

## 学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	綾上町立山田小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	1	2	1	1	1	1	1	7	12
児童数	19	27	24	31	26	25	2	154	

## 研究の概要

## 1 研究主題

分かる・できる喜びを感じ、確かな学力を身につける指導の在り方

## 2 研究内容与方法

## (1) 実施学年・教科

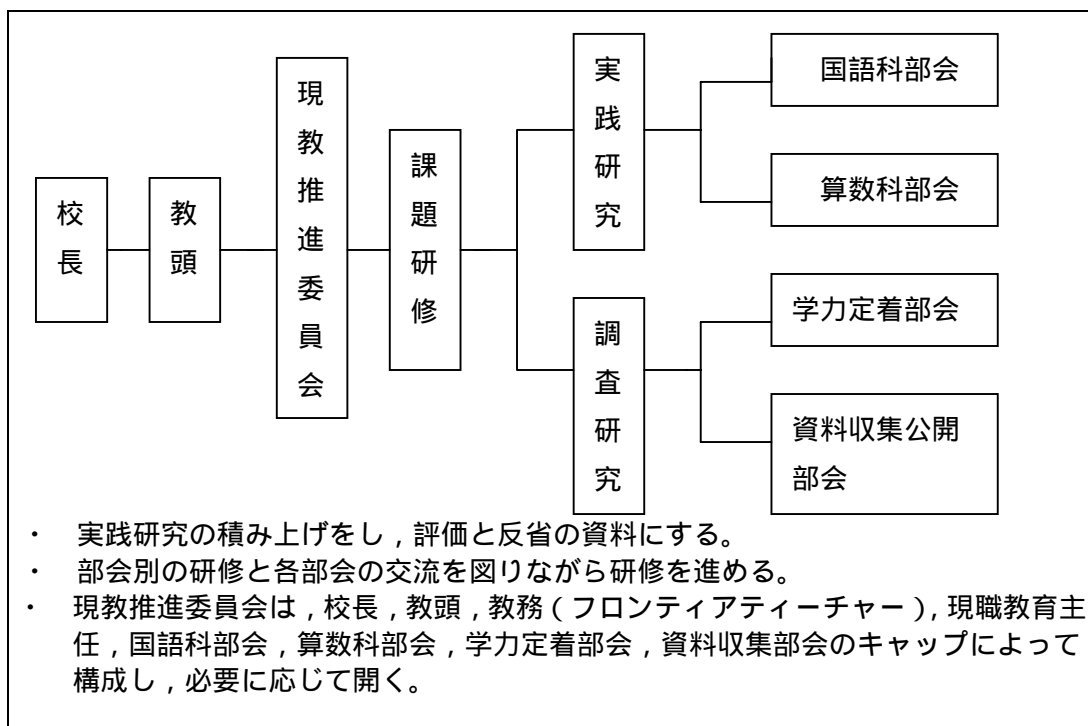
- ・ 1年から6年・算数  
習熟の差が出やすい教科であり、数学的な考え方の向上を図るため。
- ・ 2年から4年・国語  
読む力を中心に国語を適切に表現し理解する力を育成し、伝え合う力を高めるため。

## (2) 年次ごとの計画

平成 15 年度	<p>テーマ 分かる・できる喜びを感じ、確かな学力を身につける指導の在り方 研究の見通し 研究体制の確立 研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基礎基本を身につけ考える力を育てる学習指導 指導方法の改善 教材の開発と工夫 学び合いを大切にした学習 表現力を高める指導 「読む力」を育てる国語科学習 「数学的な考え」を育てる算数科学習</li> <li>・ 学力の向上を支える日常の取り組み 学ぶ習慣と基礎学力の定着 学習規律 基本的な生活習慣の定着</li> </ul>
----------------	--

平成 16 年度	<p>テーマ 分かる・できる喜びを感じ、確かな学力を身につける指導の在り方 研究の見通し 1年次の成果を受け、研究を深める。</p> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指導方法の改善</li> <li>・ 教材の開発と工夫</li> <li>・ 学び合いを大切にした学習</li> <li>・ 表現力を高める指導</li> <li>・ 確かな実態の把握</li> <li>・ 学力向上に結びつく生活習慣の指導</li> </ul>
----------------	---

### (3) 研究推進体制



### 平成15年度の研究の成果及び今後の課題

#### 1 研究の成果

##### (1) 基礎・基本を身につけ、考える力を育てる学習指導

##### 指導方法の改善

##### ア 少人数のタイプ

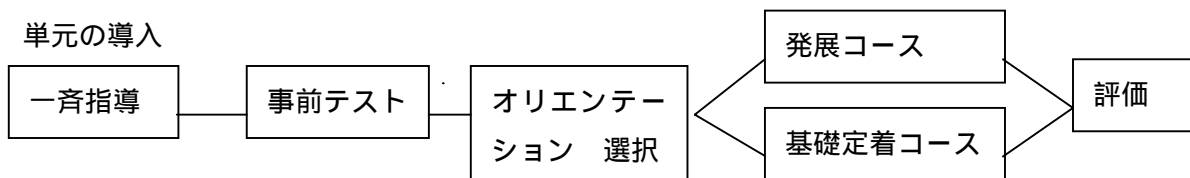
##### A 習熟度別指導

学習の速度、学び方や理解の習熟の程度に応じたコース別の学習

<算数科> 主に数と計算の単元や各単元のまとめの学習、あるいは学習速度や理解の度合いに習熟の差が見られるところで実施する。

発展的なコースでは、自力解決をめざし、教科書の問題の後にさらに数や内容の範囲を広げたり日常での応用を考えるなど思考を深める学習を行う。

補充的なコースでは、基礎・基本を身につけることをねらいに、例題の数値を簡単にしたり、既習事項を示しておいて分かりやすく学習を進める。

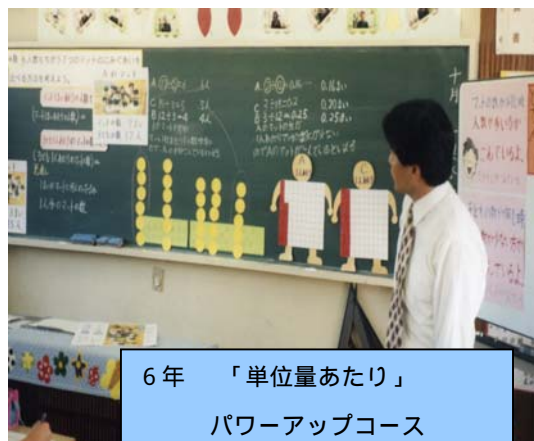


4年「複合図形の面積」の学習では、事前テストからコースを自己選択し、自力に考えをつくり友だちに分かりやすく説明することがめあての発展コースと既習事項を振り返りながら自分の考えをつかっていく基礎定着コースに分かれて学習させた。

コース別学習の後で、2つのコースでの学んだことを話し合わせるコース間の交

流を行った。

6年「単位量あたり」の学習では、教科書の例題の数値をそのまま使い、説明の図も自分で工夫する自力解決に重点をおいた発展コースと例題の数値を簡単にしたり、操作できる図を用意したり、単位量の考えがつかれない子には、ワークシートを用意した基礎定着コースに分かれて学習した。



### B 課題別学習

児童の興味や関心に応じて学習方法や内容を選択するコース別学習

児童の興味関心に応じて、学習の内容や学習の順序の違う2つのコースから自己選択して追求する学習。両コースの学習を交流させたり学習内容が分かるものを見えるように掲示したりしておく。

3年国語「自然のかくし絵」では、4年生に保護色について分かりやすく伝えるための工夫をしながら台本を書きアナウンサーになって伝える「自然びっくり放送コース」と事典に仕上げる「かくれんぼ大辞典コース」に分かれて学習した。

相手意識をはっきりさせ、2つのコースが聞き合い感想を話し合わせることで、次の表現活動に生かせるようにさせた。

友だちからの賞賛は大変励みになったようである。



### C 等質少人数指導

学級を座席の場所や出席番号で2グループに分け、2つの教室で少人数で学習し教師と児童のかかわりを密にして学習効果を高める。

## D 学級内習熟度別指導

同じ教室内で、学習活動の一部だけを習熟程度に応じたグループに分かれて学習する。

2年「かけ算(1)」では、自分の考えをつくるために、「なかよし」グループではカードやブロックを使って問題を作成させた。「がんばり」グループでは念頭操作で問題を作成させた。



2年 かけ算(1)

## イ 単元構成の工夫

一斉指導，TTでの指導，習熟度別指導，課題別指導，等質グループの指導を単元の学習内容に応じて、学級担任と少人数担当者が相談して構した。

## ウ 支援，評価，発問

### ・ 単元の評価計画の作成

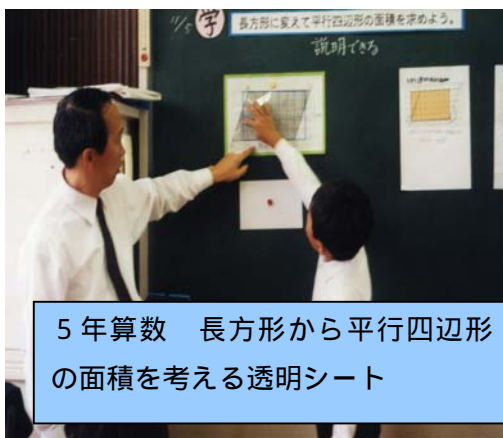
単元の指導計画作成の際には、単元の評価規準，各小単元毎の評価の観点に応じた判定基準を作成して基礎基本の定着をめざした。

### ・ 児童の自己評価

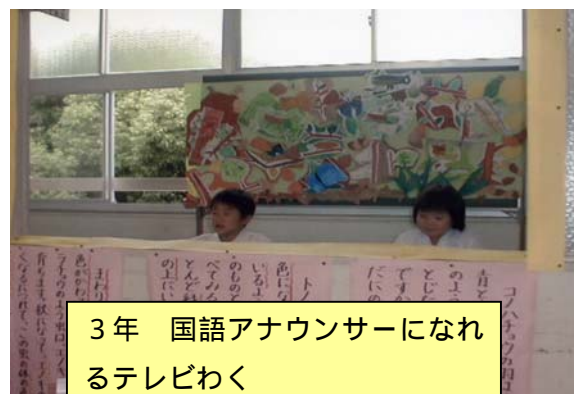
学年に応じた自己評価カードを用意し，児童に学習の達成度や意欲等を自己評価させ，学習を振り返らせた。コース別学習では，特に児童の学習の満足度や意欲をみて助言や支援を行った。

## (2) 教材の開発

従来の教材の活用を工夫するとともに，発展的学習，補充的学習，課題別学習のねらいに応じた教材を作成した。



5年算数 長方形から平行四辺形の面積を考える透明シート



3年 国語アナウンサーになれるテレビわく

## 2 学力の向上を支える日常の取り組み

児童質問調査による実態や本校児童の課題から，学力の向上に関連のある日常の活動，生活面の活動にも目を向け指導を行った。

(1) 朝の読書

すべての学習の基礎になる「読む力」を育成し、読書好きな子どもを育てるために、週5日（火～金曜日の朝の10分間）朝の読書を実施した。

(2) チャレンジタイム

「書く力」「計算する力」「考える力」などの基礎学力を身に付けさせることをねらいに、国語では、視写、音読（音読）など、算数では計算や思考力をつける問題などと月末テストに向けてのドリル学習を行った。クラスで集中して実施し、成果が上がるという達成感を味わわせながら実施した。

(3) 学びのやくそく

主体的に学ぶために授業開始時のやくそくやみんなで考えを高めるための学習中のやくそく、学習の足あとを残すノートのやくそくなど、学びのやくそくをつくった。

(4) 基本的な生活習慣の定着

児童質問紙調査の結果や本校児童の実態から、朝食を食べる習慣づけ、生活のリズムの確立、忘れものをなくすことに取り組んだ。

3 児童の意識 （平成15年11月実施）

次のどの勉強のしかたがすきですか。

	一人の先生	2人の先生が1つの教室で	チャレンジとパワーアップに分かれて	好きなコースに分かれて2つの教室で
3年	5	15	13	15
4年	4	18	23	25
5年	6	5	7	17
6年	1	8	7	16

どの学年も自分で学習方法や内容を選んで2つのコースに分かれて学習するのがすき 39.5%（課題別指導）、チャレンジとパワーアップに分かれて学習するのがすき 27.0%（習熟度別指導）と少人数による学習を好んで受け入れている。

習熟度別指導のよさについては、高学年ほど「自分のペースで学習できる」「自分に合っている」と答えたものが多かったが、「コースを迷う」「違うコースの進度が気になる」という回答もあり、オリエンテーションの仕方やコース選択のもとになる事前テストについて検討する余地があると感じた。

課題別指導では、「1つのことに集中できた」「コースの内容に違いがあって学習が楽しかった」など自分で選択する学習のよさを味わえたと思われる。

4 保護者の意識

学習参観の際には必ず少人数指導の参観を実施し、学校の取り組みを理解してもらい、参観後のアンケートをとった。

習熟度別指導については、よいところとして、「児童のペースに合わせて指導できる」「子どもの学習法、態度が分かりやすい」「分からないことをそのままにしないでよい」などと答えている。意見として、「自分の子どもがそのコースに合っているか疑問」があった。今後は、さらに公開の機会を増やし保護者の理解を得たい。

学力等把握のための学校としての取り組み

- ・ 学力状況調査
- ・ 月末テスト国語，算数（本校作成）
- ・ 児童質問紙調査

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ・ フロンティアだより「フロンティア清流」、学校だより「清流」の発行
- ・ 学習参観における授業公開
- ・ 学校評議員への授業公開，
- ・ 町内の各学校に成果を公開
- ・ ホームページの公開

次の項目ごとに，該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

【新規校・継続校】      1 5 年度からの新規校      1 4 年度からの継続校

【学校規模】              6 学級以下              7 ～ 1 2 学級  
                                 1 3 ～ 1 8 学級              1 9 ～ 2 4 学級  
                                 2 5 学級以上

【指導体制】              少人数指導              T・Tによる指導  
                                 一部強化担任制              その他

【研究教科】              国語              社会              算数              理科  
                                 生活              音楽              図画工作      家庭  
                                 体育              その他

【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】              有              無